

□ アナリスト週間相場予想

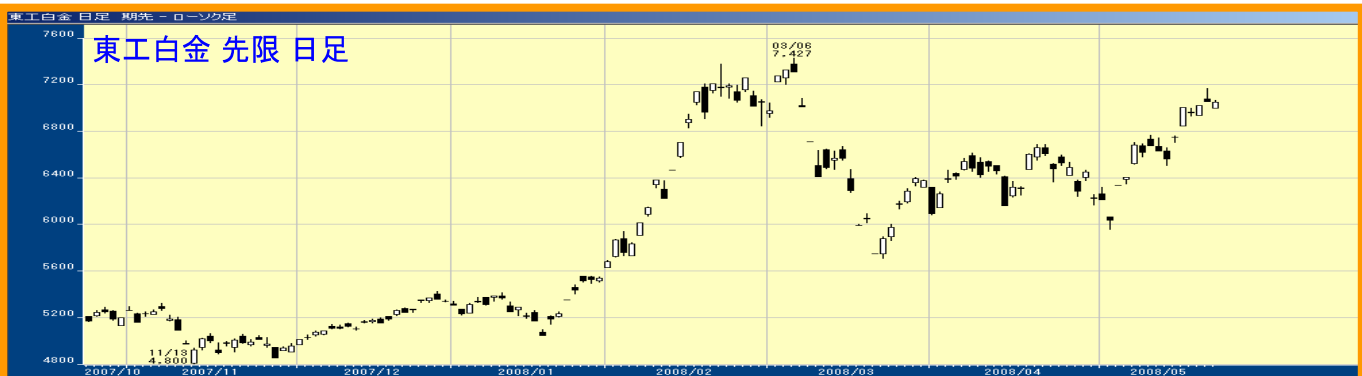
		
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 5/23 米中古住宅販売件数、CFTC建玉明細
- 26 米国休場（メモリアルデー）
- 27 米新築住宅販売件数、米消費者信頼感指数
- 28 米耐久財受注
- 29 米新規失業保険申請者件数、米GDP改定値（第1Q）
- 30 ユーロ圏消費者物価指数、ユーロ圏雇用統計
CFTC建玉明細

□ テクニカル分析（担当：西 勝之）



白金日足は3/6の高値をつけた後下落。3/24に一番底、5/21に二番底をつけて4/18高値6687円をネックラインとする変形Wボトムを形成。現在上昇トレンドの中にある。ここ2,3日の手口では、NYに比べて東京市場の上昇速度が急激であった為商社勢の売りを浴びているが、なかなか下値は堅く推移しネックラインを割る気配が今のところない。基本買い方針で臨み、撤退ラインはネックライン6687円に2日ルールを使用するのが良いだろう。尚、目標値の算出をすれば二番底からネックラインまでの上昇幅が737円、この波動をネックライン6687円から上向きに当てはめると7424円となり、これは3/6高値7427円とほぼ一致する。

対して金は既に4/18高値3141円近辺であり昨日（5/22）には上値トライを失敗している。白金買いと円高ヘッジ両方の意味合いでもって売り方針で臨みたい。

（5/23 前引け現在）

□ ファンダメンタル分析（担当：江崎 和弘）

5/19にジョンソン・マッセイ社が発表した「プラチナ2008」は、大方の予想通りに強気の内容となった。概要を述べると、①2007年の需給バランスは2年ぶりの供給不足（約15トン）、②2008年の供給は南アの電力問題の影響から同国のみで6トン減少見込み、③需要はメインとなる触媒が伸び、宝飾品は価格高騰の影響がありながらも底堅い、④投資需要（ETFなど）が拡大などで、今後半年間の予想レンジは1,775～2,500ドルと示されている。さらに、サブプライム問題が白金相場に与える影響としては、①安全資産として魅力を高める可能性、②ポートフォリオの見直しからリバランス売りが出る可能性の両面を同社は指摘している。予想レンジの記述欄には、アップサイドリスク（予想レンジの上限突破）ありとのコメントもある。

2008年の需給バランスに関しては、大幅な供給不足が続くというのみで、今回のレポートでは具体的な数値は出されていない。ただ、南アの生産事情は流動的であり、中長期的に有望な市場であることを改めて確認する内容であったと言える。相場的には、レポートの発表を先回りした買いが入っていたことから、リリース後には伸び悩む面も見られたが、今や7,000円が下値抵抗として意識されている（期先限月）。為替要因や商品相場へ何かと影響を与える原油価格の動向には注意が必要だが、上場来高値更新を視野にしっかりと展開を期待したい。

一方、金相場の先行きもまた為替と原油に左右されるものと見ている。次週は経済指標の発表も続き、ドル安地合いが一変するかどうかは鍵となる。上値含みの中にありながら、そろそろ調整の可能性に注意が必要だろう。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から180,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年5月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年5月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 商品取引所ビル2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)